



# コンセンサスに基づく ポリシー形成のために

Open Policy Meeting , ip-users  
IPアドレス検討委員会と事務局

JPNIC IPアドレス検討委員長

イクアント株式会社

前村 昌紀

# 本日本話すること

- APNICオープンポリシミーティング
- JPNICオープンポリシミーティング
- JPNICにおける体制の変更
- 12月のJPNICオープンポリシミーティング  
の議題

---

APNIC

Open Policy Meeting

## APNICの方針決定のベースとなるコンセンサス形成の場

- 年2回実施
  - APNICからのポリシ提案
  - メンバ, ユーザからのポリシ提案
  - コンセンサスを最大限尊重し、APNICのルールを決定する
  - 必要に応じて、ARIN, RIPE NCC とも調整し、グローバルポリシ形成を目指す
-

# オープンポリシー ミーティングとは

## IP-USERSミーティングから一歩前へ

- まず、年2回 – 前回のIP-USERS == Pre OPM
- IP-USERS : JPNICサイドからの指針紹介のみ
- OPM: JPNICからもメンバ・非メンバからも提案, コンセンサスの形成を目指す
  - APNIC OPMでのコンセンサスに基づく、JPNICからのポリシー案の発表, コンセンサスの拡大
  - 日本からのポリシー提案に向けたコンセンサスの形成
    - APNIC OPMに持ち込む

# JPNICにおける方針 策定スキームの変更

## IP-wg: 検討部会から検討委員会へ

- ポリシ策定や実務のイニシアティブを事務局に移す
- WGは諮問委員会的役割へ
  - 事務局の立場からメンバ（指定事業者・エンドユーザ）の立場 + 有識者集団という立場へ

## 専門家チーム制度

- 事務局で賄えない実務や専門性の高い検討を委託し、集中的に処理

# チームIPの 目指すところ

- チームIP

- IPアドレス担当理事，IP事業部
- IPアドレス検討委員会，IPアドレス関連専門家チーム

IRスキームの一翼をなす民主的なポリシー策定

国際連携，APNICプロジェクトへの積極的参加

メンバ（指定事業者）や利用者とのコミュニケーションの充実

- 情報提供の充実
- 意見聴取や議論の充実

サービス品質の向上

# 前回 OPM での議論

(1)

## IPv4 アドレスの初回割り振り基準の変更について

- 現在の基準（マルチホーム要件あり，最小利用要件なし）から、最小利用要件/22を新設する提案
- 最小利用要件/22に反対はなかったが、マルチホーム要件は外すべきだという議論が進んでコンセンサスに。これを尊重して改定案処理中

## 初期割り振り条件の変更に伴う最小割り振りサイズの統一

- 現在/22となっている最小割り振りサイズを、割り振り基準変更に合わせて/20に変更する。
- 経路制御上の懸念を精査した上で、提案どおり改定案処理中。

# 前回 OPM での議論

(2)

## AS番号割り当て正式サービス化

- 専門化チームから正式サービス，ポリシーの概要が示され、実施に関してコンセンサスが得られた

## マルチホームのためのPIアドレス割り当てについて

- マルチホームのためのPIアドレス割り当ての検討状況が紹介され、方向性が支持された



# 前回OPMでの議論

(3)

## APNIC CATV/xDSL WG レポート

- APNICのCATV/xDSL WGの活動をベースにした新ガイドラインを報告したが、ガイドラインの一部が適切でない可能性が指摘された。事業者有志で検討し、次回APNIC OPMに提案する方向性となった。

## IPv6の新アドレスポリシー

- 現在有志で取り組んでいるIPv6アドレスのグローバルポリシーの検討状況を報告し、その中の懸案事項に関して会場から意見をいただいた。

---

ip-users

# メーリングリスト

ip-users@nic.ad.jp

- [majordomo@nic.ad.jp](mailto:majordomo@nic.ad.jp) にて加入受け付け
- subscribe ip-users